

港区立小中一貫教育校お台場学園 港陽中学校

平成30年度 授業改善推進プラン

教育目標

○自ら考え、自ら学ぶ人      ○心豊かで思いやりのある人      ○心身ともに健やかな人

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

【確かな学力の定着・充実】

- 校内研究の充実（「特別の教科 道徳」）
- 国際科・英語科国際の授業の充実
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり
- 小中連携した授業づくり（家庭・音楽・理科）
- 3学年～6学年、7学年～9学年生の習熟度別少人数指導等の充実（算数・数学、英語）
- 読書活動の充実（朝読書等）

昨年度の成果と課題

- お台場アカデミーとして、合同で学校行事を実施するなど、幼・小中が一体として計画的に教育活動に取り組むことができた。
- 幼・小中のそれぞれの学習内容や他教科等との関連を図った学びの継続・系統性を重視し、確かな学力の向上を図ることが課題である。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中一貫教育を一層推進するために小・中学校で年間教育計画、時程や時間割を調整する。</li> <li>○基礎・基本の確実な定着を図るため授業時間数を十分に確保する。</li> <li>○総合的な学習の時間は、全学年共通のテーマで計画的に実施する。</li> <li>☆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の生徒に合わせて、個別指導の徹底を図る。</li> <li>○言語活動を積極的に取り入れ、思考力、判断力、表現力を育む。</li> <li>○数学科において習熟度別少人数指導を行う。英語科において習熟度を考慮した少人数授業を行う。</li> <li>☆進んで運動しようとする態度を育てて体力の向上を図る。</li> <li>▲ICT機器を活用した授業を発展させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年度当初に、各教科のねらい、評価の方法や評価項目等を具体的に説明する。</li> <li>○毎学期、生徒の自己評価や生徒による授業評価を実施する。結果を分析し、授業改善に生かす。</li> <li>○生徒の学習活動に対する指針や励みになるような学習機会を設定する。</li> <li>☆道徳について、来年度に向けて「特別の教科道徳」の特質を踏まえた評価を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆今年度のアカデミー研究主題「幼児・児童・生徒の発達段階の特徴を踏まえた指導の在り方」について取り組む。</li> <li>○今年度も、小中合同で校内研究を実施し、「特別の教科 道徳」の授業づくりを継続する。</li> <li>○オリンピック・パラリンピック教育は、5つの資質向上を目指した学習を工夫する。</li> <li>○ハイパー・Q Uを活用した望ましい人間関係の育成を図る。</li> <li>▲ICT機器を活用した学習指導に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動について、ホームページ、学校・学年便り等で情報発信する。</li> <li>☆PTAと連携し、学習活動、学校行事、部活動において支援を得る。</li> <li>○地域人材や専門家や地域の事業所等の協力を教育活動に反映する。</li> <li>○生徒によるお台場防災Jr. ティームを組織し、地域と連携した活動を推進する。</li> </ul>

具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育課程の着実な管理を実施する。</li> <li>○総合的な学習の時間は、「キャリア教育」と「環境教育」のテーマで、展開を図る。</li> <li>☆教員同士が授業を見合う時間を設定し、さらなる指導力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○港区・東京都・全国の学力調査を分析し、授業改善につなげる。</li> <li>○單元ごとに確認テストを実施し、きめ細かな指導を行う</li> <li>☆幼・小中で連携し体力向上の実践を行う、体力向上週間を設ける。</li> <li>▲効果的にICTを取り入れた授業を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料冊子「学習の計画と評価」で、生徒や保護者に説明、周知する。</li> <li>○自己評価や授業評価の結果について、職員会議で検討し、授業改善に役立てる。</li> <li>○漢字・計算検定・スペリングコンテストを実施し、生徒の学習意欲を喚起する。</li> <li>☆道徳の評価について、研修会で取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆お台場アカデミーで、研究主題に沿った研究授業を3回実施する。</li> <li>☆小中合同で道徳の研究授業を3回実施する。</li> <li>☆Q Uの結果を基に会議を行い、生徒理解に生かす。</li> <li>▲ICT機器の校内研修を実施し、授業形態の工夫や学習指導案の開発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆環境学習について、PTAと連携し、学年の発達段階に応じた取り組みを実施する。</li> <li>☆地域の特色を生かした部活動を創設する（ヨット部）。</li> <li>○出前授業、職場訪問や職場体験を地域の協力を得て行う。</li> <li>○地域防災の担い手の一員となる。</li> </ul>
---	--	--	---	--

☆→今年度からの取組      ○→定着・継続している取組      ▲→活性化が必要な取組